資料２

少年少女海外派遣研修事業の豚インフルエンザへの対応について

● ニュージーランドの状況（4 月 27 日朝日新聞夕刊より）

・ メキシコに語学留学していたオークランド市内の中・高校生１０人に感染の疑い。
・ 新たに別の学校の３人もインフルエンザ症状。
・ 米国から帰国した２人にも感染の疑い。
・ 現地学校では、自宅待機で対応している。
・ 発症原因がはっきりしているのでその周辺への対応はなされているが、オークランド全域に対するものはまだ出ていない。

● 旅行会社の対応状況（株式会社Ｉ．Ｓ．Ａ）

・ ゴールデンウイーク中の旅行のキャンセルは出ている。
・ 旅行実施･中止の決定は申込者の判断になるので、会社としての旅行中止通知は出していない。
・ 宗像市の研修については、実施時期まで時間があるのでしばらく状況を見たいと考えている。
・ キャンセルのリミットは、飛行機のキャンセルチャージが発生する１ヶ月前
・ 契約解除に伴う違約金等は、確認中（現状では事業を行っていないため、不要ではないか）
・ 今のところ同様の研修で、国内の他地区からの問い合わせはない。

● 一般的な状況

・ ウイルスの感染力は不明である。
・ メキシコでは若い人の方が、反作用で死亡している。所得者層を考え合わせると、若くて体力のない層がなくなっている。
・ １週間～１０日の潜伏期間がある。
・ 外務省からは、海外渡航禁止令は出されていない。
・ 現地では３月頃から、発症の事例は出ていたらしいが人に感染することが判明して大規模な報道になっている。

● 他の自治体等の状況（子ども課が電話で確認）

・ 福津市 ･････････････ 状況を確認、検討中
・ 遠賀町 ･････････････ 情報収集の段階
・ 早良中学校 ････････ 募集中。状況を見ながらアドバイザーと検討予定
・ 福岡女子高校 ･････ 検討中
・ 福岡城東高校 ･････ まだ検討には入っておらず当初どおり予定している
・ 明治学園 ･････････ 状況を見ながら判断する